

事業者向け

児童発達支援 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員10名に対し、指導訓練室が40m ² 以上確保できているか	4	2	1	・1月より新教室になり、以前より広くなって活動しやすくなっている。 ・実測し40m ² 以上を確認している。
	2	職員の配置数は適切であるか（加算申請をしている場合は基準を満たしているか）	5	1	1	・基準を満たして営業を行う事が出来ているが、休憩や送迎の際に満たすことが難しい時がある。 ・R2.3月現在、新スタッフを募集し積極的に採用している。
	3	事業所の設備等についてバリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	3	0	・段差も少なく歩きやすい。扉もスライド。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	1	0	・毎日清掃を行っているため、心地よく過ごす事ができている。
業務改善	5	業務改善を進めるための目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか	6	1	0	・時間を見て効率よく仕事を行う事が出来ている。
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか	4	3	0	・今夏のアンケートを通じて、改善点を知る事が出来た。今後につなげていきたい。 ・保護者に対して意見を記入してもらう等の用紙を増やした方が良い。
	7	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	3	0	・ホームページが活用されていない？
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	4	2	・実施されていない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	3	0	・運動研修や強度行動障害研修等に参加できる機会があり満足している。 ・研修があまりないので増やしてほしい。
適応	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	6	1	0	・モニタリングを実施し、保護者の声を通じて分析した上で作成することができている。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	5	0	・運動遊びを実施している。 ・リトミックやキッズヨガを取り入れている。
	12	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	2	0	・活動プログラム（運動プログラム）をその日利用する児童の特性に合わせたものを話し合って決めている。 ・その日の利用の児童に合わせたプログラムを提供できるよう工夫している。
	13	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	5	2	0	・月の運動遊びのプログラムを、ストーリー性のあるものにして使用している。 ・土・祝日のみだったイベントを平日にも取り入れるなど、児童が楽しめることも入れるよう心掛けている。
	14	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	3	4	0	・利用児童の状況に応じて、制作活動を取り入れたり公園に出かけたりしている。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成しているか	6	1	0	

的 な 支 援 の 提 供	16 支援開所前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	1	0	・利用児童の確認やスタッフの役割分担を行い、支援のしやすい環境づくりを行っている。 ・スタッフ間のチームワークが良いので、スムーズにできている。
	17 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援を振り返り、気づいた点を共有しているか	4	3	0	・その日にあったことを共有し、「次どのように対応していくか」を話し合っている。
	18 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	0	・個別支援記録で、支援内容や利用児童の反応等を記録し、次につなげるようにしている。 ・毎日その日利用した児童の様子を記録し、ミーティングの時に支援について話している。
	19 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1	1	・個別支援会議にて児童の支援方法・目標の見直しを行っている。 ・半年に1回モニタリングを行っている。
	20 安全に運動遊びができるよう用具の使用方法や支援方法等に工夫や配慮をしているか？	5	2	0	・鉄棒や跳び箱の補助方法をスタッフ同士で共有し、必ず利用児童の手の届く場所にいる。 ・運動研修の報告会を行い、用具の使用方法や児童の指導方法を確認している。
	21 お子さんの特性に合わせた支援方法を個々に工夫しているか？	6	1	0	・支援方法をスタッフ間で統一し、適切な支援ができるよう心掛けている。
	22 ガイドラインの総則の基本活動を複数組合せて支援を行っているか	4	3	0	・ガイドラインがよく分からない。
	23 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1	0	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24 関係施設との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	1	1	・担任の先生とコミュニケーションをとるようにした方が良い。(教室での様子を見学に行くなど)
	25 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	2	0	・主治医の連絡先等を個々にまとめ、いつでも連絡が取れるようにしている。
	26 与薬指示書の内容に変更等がないかなど、定期的に保護者へ確認をとっているか	4	2	1	・モニタリング(半年ごと)の際に確認を取り、スタッフに周知後個別ファイルに保管している。
	27 児童発達支援から放課後等デイサービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	2	0	・児発→放デイになる場合も同施設を共有して使っている為、支援内容の見直しのみ行っている。 ・児発・放デイの両方の支援を行っている為、内部で引き継ぐ事が出来ている。他事業所へ移動の際も、保護者の許可を取って共有できるようにしている。
	28 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2	3	
	29 関連施設（児童館等）との交流や、定型発達の子どもと活動する機会はあるか	1	2	4	
	30 (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	1	4	2	

保護者への説明責任等	31	写真付の連絡帳を作成し、保護者へ活動の内容や様子を共有できているか	6	1	0	・写真を見てその日の子供の様子が保護者に分かるよう、引き渡し時にも様子を伝えている。 ・毎日できる限り行っている。利用児童と写真を確認し、達成感を感じることができ
	32	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0	・児童の引き渡しの時などにできる限り日々の様子を伝え合うようにしている。 ・送迎時に日頃の様子を聞き、状況や課題を共通理解しようと努めている。
	33	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	3	1	
	34	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	1	0	・契約時にスタッフが1対1で説明を行っている。
	35	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1	0	
	36	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	2	4	・行われていない。
	37	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1	0	・クレーム等があった際は、迅速かつ真摯に対応し、至らない点は直していくようスタッフ間で話し合っている。
	38	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	3	0	・成東教室から定期的に会報を発行し、活動内容や予定等をお知らせしている。
	39	個人情報に十分注意しているか	6	1	0	・厳重に保管し、ブログ等に使用する利用児童の写真は顔が映らないよう配慮している。
	40	HP等へ写真を掲載することについて、同意書等へサインをいただくなどして同意を得られているか	7	0	0	・契約時に同意書にサインをいただいている。 ・ブログ等では、写真をあまり掲載していない。
	41	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	1	0	
	42	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	5	
	43	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	5	0	・各マニュアルは施設内に掲示している。 ・R2.3月現在、各マニュアルについて見直し・再作成中。
	44	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	3	0	・年2回、火災・地震に備えての避難訓練を行っている。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	2	0	・虐待防止についての研修がある際は必ず参加し、研修を受けたスタッフは全スタッフに研修報告を行っている。
非常時等の対応	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、サービス計画に記載しているか	5	2	0	・身体拘束を行う児童がいる場合はスタッフ間で話し合いを行い、保護者にどのような場合に身体拘束を行うか説明し、同意書にサインしていただいている。
	47	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	3	0	

48	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	0	・ヒヤリハットがあった際は、その事例をスタッフ間で共有し再度同じことが起こらないよう心掛けている。 ・ヒヤリハットの事例を記録に残し、ファイリングしている。
----	----------------------------	---	---	---	-----------------------------------------------------------------------------------